

京都府立 木津川運動公園（北側区域）整備事業 事業概要書

次世代の公園づくり

子育て支援
健康長寿
健康づくり



賑わい
地域振興



自然・体験
食べる・泊まる

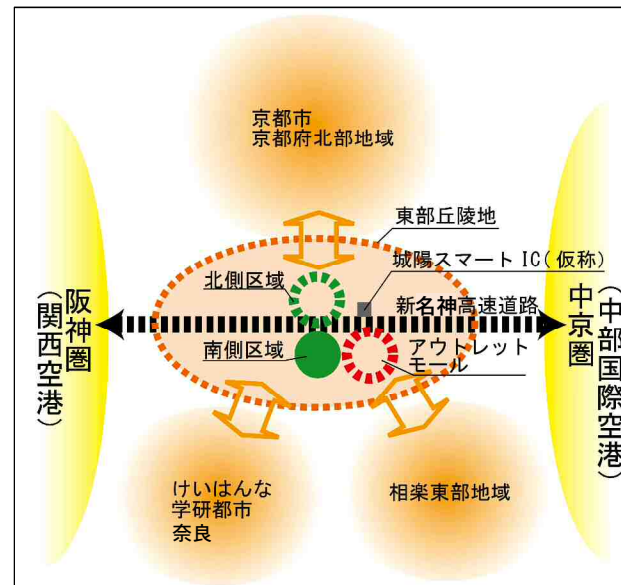
1 事業対象地の概要

■新しいまちづくりの展開

京都府立木津川運動公園が位置する城陽市東部丘陵地は、令和5年度に新名神高速道路が開通（併せてスマートインターチェンジの整備）し、さらに令和6年春、公園南東側にアウトレットモール（約25ha）が開業される予定です。

さらに、東部丘陵地はその後段階的な整備が構想されており、木津川運動公園は、これら地区の玄関口に位置しています。

新名神高速道路の開通
アウトレットモールの開業



■木津川運動公園の概要

府立木津川運動公園は、京都駅からJR奈良線で40分程度の長池駅の東側にある都市公園です。南側区域（約11ha）は平成26年3月に供用開始し、年間約10万人が利用しています。

マーケットサウンディング型市場調査を行う北側区域（未整備約19ha）は、地理的優位性を活かし、高速道路やアウトレットモールと同時期の一部開園に向けて、現在検討を進めています。

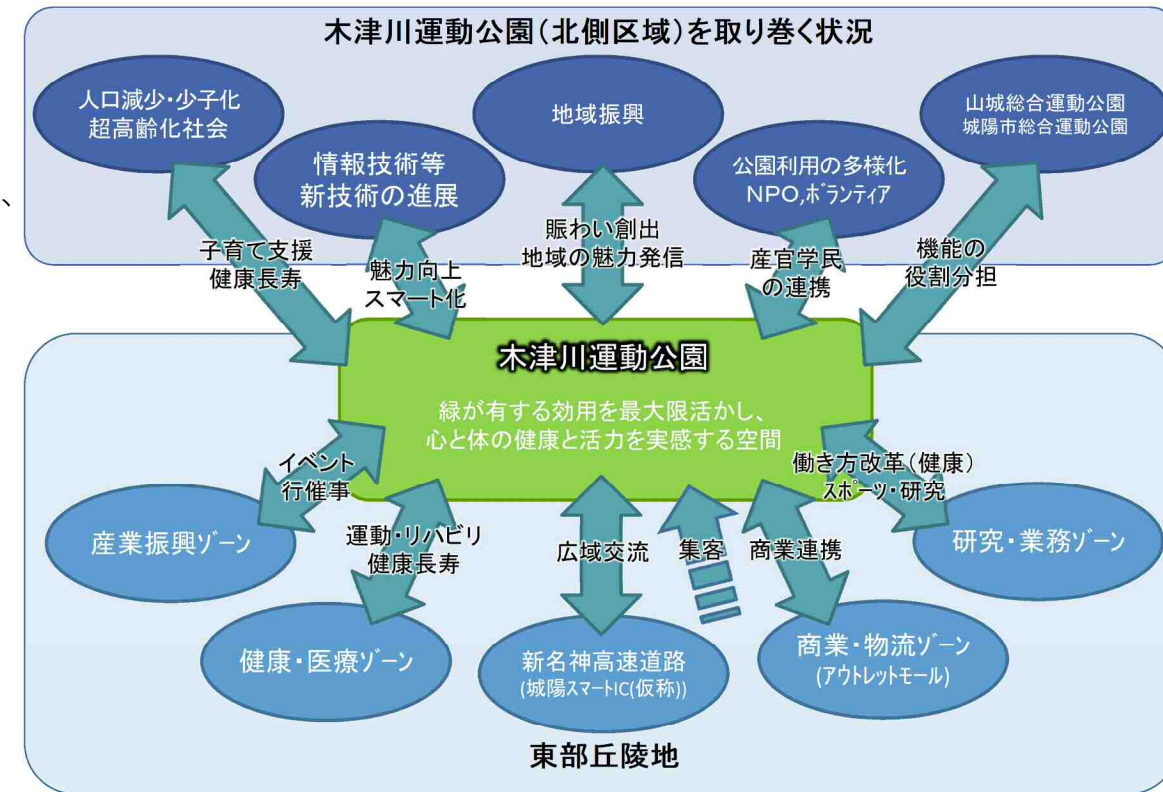


| 項目 | 概要 |
|--------|---|
| 都市計画制限 | 線引き：市街化調整区域 都市計画：都市計画公園（木津川右岸スタジアム公園） ※建蔽率2%以内（ただし、緩和の特例があります。） |
| アクセス性 | JR奈良線「長池駅」から約900m （長池駅は京都駅から約40分、奈良駅から約30分） |

■府立木津川運動公園を取り巻く状況

府立木津川運動公園は、城陽市東部丘陵地において、まとまった緑やオープンスペースを有するエリアとして、商業や産業振興、健康・医療、研究・業務などの多様な機能との交流の拠点と位置付けられます。

さらに、人口減少・少子化社会、超高齢化社会、情報技術等の進展など、京都府を取り巻く社会情勢の変化など踏まえ、次世代の公園づくりを進めていく考えです。



<南側区域の状況>

供用済の府立木津川運動公園（南側区域）は、大芝生広場や大規模遊具などが整備され、年々利用者数が増加しています。また、山砂利採取跡地の自然再生のため、府民参画による森づくり活動を行っており、令和元年9月現在で約1万本の植樹や育樹活動が展開しています。



■公園づくりの方向性案

未整備となっている府立木津川運動公園（北側区域）は、次に示す方向性案に基づき整備を進めていく予定です。なお、民間事業者の皆様との対話などを通じて、さらに実効性を高め、公園整備の方向性を具体化していく考えです。

目指すべき姿

『自然と共生した都市公園において、幅広い人々が“運動”“体験”“交流”を通して心と体の健康や活力を実感し、新たな高速道路ネットワークによる効果を最大限に引き出す魅力溢れる空間を創出する。』

方向性

- 子育て支援、健康長寿、働き方改革（健康づくり）、多様性を認め合う共生社会の形成などの都市課題に対応する公園
- 新名神高速道路のスマートインターチェンジやアウトレットモールに近接する地理的優位性を活かした、賑わいや地域振興に資する公園
- 新たな需要を喚起できるオンリーワンの魅力に溢れ、周辺環境に相乗効果を生み出す公園
- 緑が充実し、緑を活かした公園（山砂利採取地であった東部丘陵地の自然再生）

実現化施策・ツール

- 質の高いサービスの提供、整備運営の効率化を目指した積極的な民間活力の導入
- IoT、AI、VR等の新技術の導入
- 府民、NPO、大学、地元企業等との地域連携

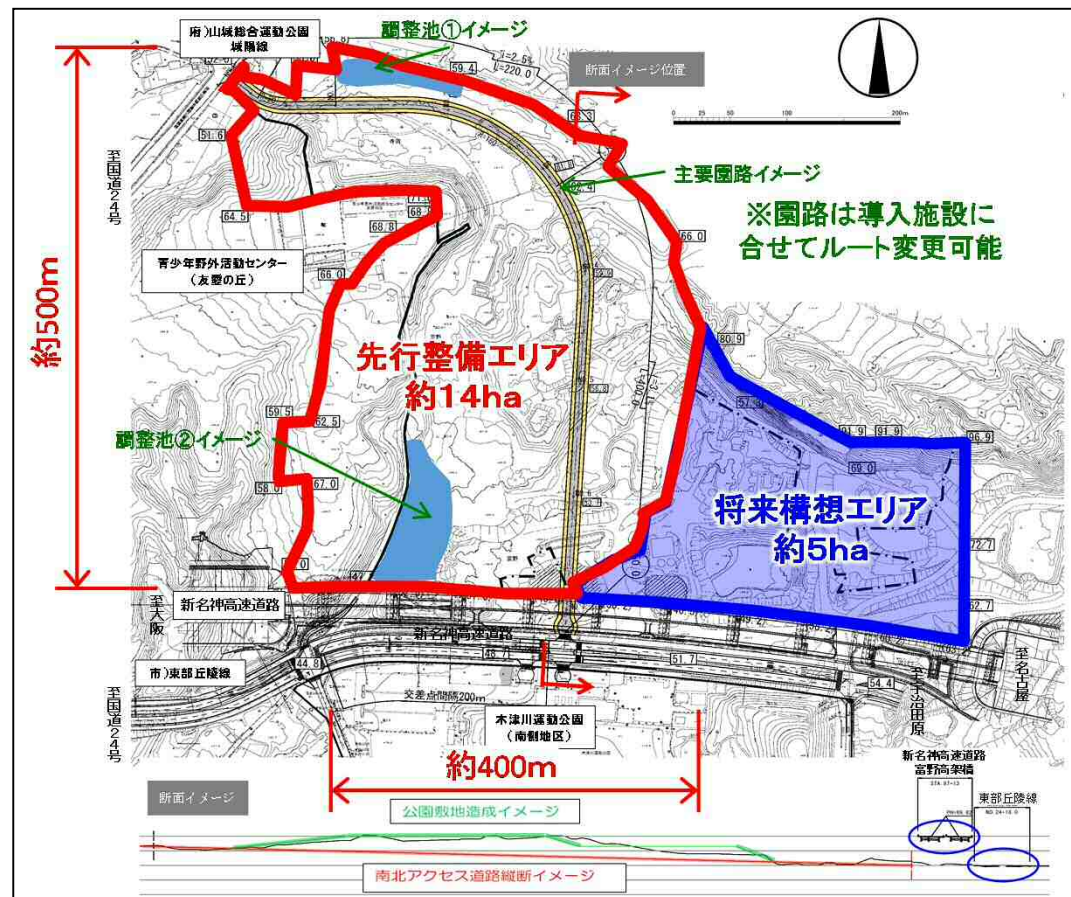
■アイデア募集の対象範囲

今回のサウンディング調査の対象範囲は、用地買収が進んでいる「先行整備エリア」（約14ha）の全体もしくは一部を基本とします。ただし、未買収の「将来構想エリア」や既に開園している南側区域を含めた一体的な活用アイデアのご提案も可能です。

また、公園の管理運営に関心のある事業者のご提案も募集しています。

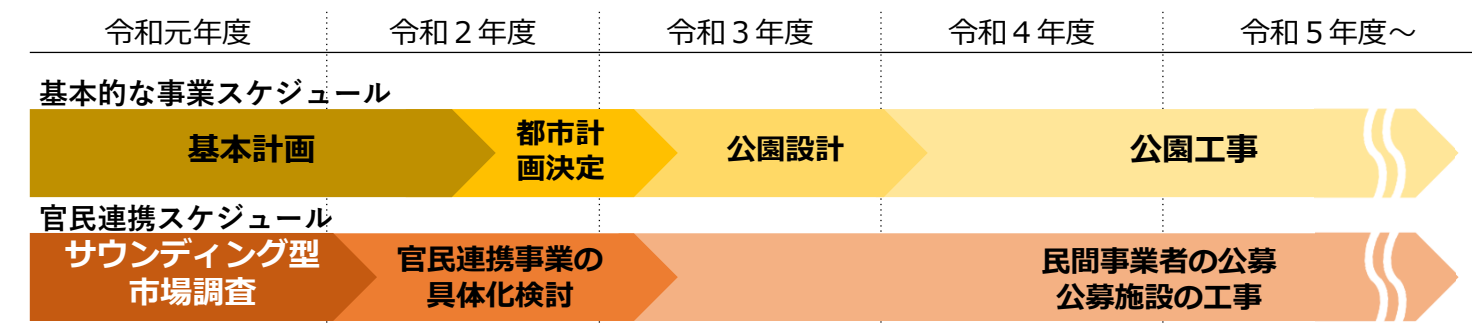
<官民の基本的な役割分担案>

| 項目 | 役割分担内容 |
|----|-------------------------|
| 公共 | 公園の基盤整備（造成・調整池、主要な園路等） |
| | 公園施設（園路、広場、駐車場、トイレ、遊具等） |
| 民間 | 収益性のある魅力溢れる事業・施設の整備・運営 |



■事業スケジュール（構想）

新名神高速道路やアウトレットモールの開業と併せて、令和5年度の一部開園を想定しています。



■事業アイデアの募集について

府立木津川運動公園（北側区域）の公園整備では、民間事業者の皆様が資金やノウハウ、創意工夫等を活かした公民連携による公園づくりや運営・維持管理を検討しています。

本サウンディング調査は、事業発案時における官民対話となりますので、単一的な事業から複合的な事業、公園の部分的な活用から公園全体の活用・運営維持管理など、幅広い視点での事業や活動アイデアを求めます。

当該公園の方向性についての市場性や事業アイデアについて

- 官民連携事業による当該公園の方向性に基づく整備・運営の実現可能性について
- 当該公園で導入可能な収益性のある魅力溢れる事業・施設、事業手法、事業範囲のアイデアについて

事業参入に関する条件や行政への要望について

- 事業参入を検討するにあたって、クリアすべき課題や懸念事項について
- 事業参入を検討するにあたって、行政に期待する事項、要望、官民の役割分担の考えについて

■事業参画手法

また、公民連携の事業手法についても、民間事業者の皆様との対話を通じて具体化していく考えであり、現時点では制約は設けずに幅広い事業スキームを想定しています。

